

自然への畏れ 日本人の根っこ それは民謡が教えてくれたこと



びわ湖の歌姫(民謡)
塚田 陵子さん (川道町)

撮影場所: 湖北町延勝寺

「私の民謡を聴いて癒されたり、昔に戻った気分になってくださったら嬉しいですね」。そう熱く語るのは民謡歌手の塚田さん。会社勤めをしながら、休日は稽古やステージ発表に臨みます。滋賀や京都が活動の中心で、多い時には、月に4回はステージに立っています。

塚田さんは旧びわ町出身。大学進学を機に長浜を離れましたが、民謡にのめり込むうちに地元長浜の風土、富田人形や子ども歌舞伎などこのまちが持つ伝統芸能に惹かれ、4年前にUターンしました。

父親の影響で11歳から琴を習い始め、大学生のときに琴の先生の紹介で、民謡を始めることに。小さいころから歌

うことが大好きで、民謡との出会いによって素朴な日本語の素晴らしさに気づいたと言います。

「民謡は、自然と向き合うところに魅力がある」と塚田さん。人は、大漁や豊作など自然がもたらす恵みに感謝し、干ばつや台風などの自然災害にはなすすべもなく祈る。民謡はこんな人間本来の想いや営みを描きます。「自然に寄り添って暮らしていた先人の魂の叫びである民謡。それは人間も自然の一部である事を気付かせてくれました。自然の力にはかないません」と語ります。

塚田さんは、歌いたい民謡の生地を訪れます。その民謡で表現されている情景を実際に見て感じなければ思いを込めて歌えないからです。また、現

地の人との交流も欠かしません。民謡の生地に住んでいる人々、人々が寄せるまちへの思い。それを知って民謡へのイメージを膨らませることで、民謡をさらに楽しく歌うことができるそうです。

最近では歌うだけではなく、民謡を伝えていく活動にも注力。現在、木之本で定期的に民謡教室を開いています。「教室に通ってくださる年配の人たちから学ぶことが多いんですよ」と言います。今後は民謡に本気で取り組みたい人にマンツーマンで指導できる教室を開き、民謡を通して日本人のここを伝えていけたらと意欲を燃やす塚田さん。大好きな長浜への想いを乗せ、今日もステージに立ちます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課 ☎65-6504) まで申込みください。



伊藤 望藍ちゃん (平成26年11月生まれ 右)
望藍2歳おめでとう♡
そして徠希・望藍、七五三おめでとう☆
2人いつまでもながよし兄妹でいてね♡
(神照町)



田川 終疏ちゃん (平成27年4月生まれ 右)
蒼疏ちゃん (平成24年10月生まれ 左)
お兄ちゃんが大好き♡毎日ここに笑顔とありがとう♡\V\とママのところに生まれてきてくれてありがとう♡大好きだよ♡
(高月町井口)

まちの人口	平成28年10月1日現在	人口 120,351人	男 58,875人	女 61,476人	世帯数 44,970世帯
	平成28年9月中の異動	転入 181人	転出 243人	出生 76人	死亡 103人 婚姻 37件

VEGETABLE OIL INK 植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いてあります。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報をご希望の人は市民広報課まで。

長浜 11 月

Kouhou Nagahama 2016

平成28年11月1日発行/編集・発行 長浜市市民広報課
〒526-8501 滋賀県長浜市/備前町632番地 TEL. 0749-62-4111 FAX 0749-63-4111
http://www.city.nagahama.shiga.jp e-mail: kouhou@city.nagahama.lg.jp